

医師ふやせ、公立病院守れ！ 県内の住民運動が初交流

6月7日、自治労連千葉県本部と千葉県職労が呼びかけた『地域医療と公立病院を守り充実を求める住民運動の交流会』が7団体・地域の代表等の参加で開催されました。

医師不足で公立病院の縮小、医療崩壊

参加者からは、「山武は医師不足で東金病院の病床が7割も減った。新病院計画が1億円も使いながら破綻。千葉県が住民の声も聞かず地域医療から撤退し公立病院の縮小が原因だ」「市原の循環器病院センターの内科医不足で労災病院に患者が集中し医師が過重労働だ」「佐原病院の産婦人科休診で香取地域では赤ちゃんが産めない」



6月7日
住民運動交流会

報告が続きました。県内全域で医師不足による公立病院の廃止・縮小と医療崩壊の実態が浮き彫りとなり、「医師増やせ、公立病院を守れ」の運動の広がりを示しました。

シンポ、アンケート、署名などの運動が

「匝瑳市市民病院が小児科、産婦人科が休診。旭中央病院を中核に公立病院統合計画が検討されている。地域医療を考える集いを開く」

「医師不足の長生病院を守るため、行政や医師会などの協力で運動を広げている」「指定管理者移行後の千葉リハビリテーションセンターでは、黒字だがサービス向上のためでなく県が本来行うう施設補修費に充てられている。利用者アンケートを行う」「こども病院でも医師不足だ。高度医療だけでは医療は支えられない。地域医療が大切だ。お母さん方が病院の存続充実署名を続けている」と活発な

全県で地域医療を守り充実する大運動を

国は医療費抑制のため、公立病院の統廃合・民営化計画を進めています。県では県立病院将来構想を11月頃にまとめるとしています。

今こそ、地域医療と公立病院を守り充実する住民運動が手をつなぎ県内に大きく広げることが求められています。次回の交流会は、9月6日に千葉市内で開くことを確認しました。

**中核病院の匝瑳市市民病院の
存続・充実求め124人が集う**
6月8日、匝瑳市職労や地域団体などが市民や医師、看護師などから参加して集いを開催。市民病院が中核病院と報告し、「退院しても市民病院の存続を求める参加者から寄せられた。」



各地の動き

**市原市診療所の
民間移譲を検討**
6月18日、市原市の医療福祉推進備会は、市原市医師会「体制を守る会」懇談。市から「医師確保に業医の協力に依頼している」「診療所を民間移譲している」などが話されている



**9万筆署名めざし
山武で学習会&総会**
6月15日、山武地域の医療と成東を給東統確の会や医師全の会を主催。東金病院で学習会や総会を院の画公立に学び、住と運動の運動で大きな確認しました。

地域医療と公立病院を守る 県民ネットワークニュース

地域医療・公立病院を守り充実求める

住民運動の交流会事務局

2008年6月

千葉市中央区長洲1-10-8

自治労連千葉県本部内

TEL 043-227-9393